

令和6年度 第3回 (仮称) みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会記録

日 時 令和7年2月15日 10時00分から11時40分
場 所 八千代市緑が丘2丁目4番地 八千代市立新木戸小学校2階ICTルーム
議 題 1 報告
(1)「説明及びご意見を伺う会」の開催結果(事務局)
(2)学校運営協議会及び地域学校協働本部(C部会)
2 議事
(1)芝生について(A部会)
(2)校名案候補の作成(B部会)
3 連絡
4 その他

公開又は

非公開の別 公開

出席者 <以下敬称略>

事務局 佐々木俊一, 菅谷貢, 濱崎宏伸, 諏訪大輔, 倉橋正明,
阿久津博一, 岡田久恵, 高崎哲矢, 瀬口朗子, 長島秀一, 高原敬介
教育総務課長 渡邊久貢, 学務課長 兒玉健司, 指導課長 加藤英昭
生涯学習振興課長 井澤延浩, 保健体育課長 宗像 洋
教育センター所長 向 智広, 青少年センター所長 丹治 貴史

傍聴者定員 5名

傍聴者 1名

学務課員 本日はご多用の中ご出席いただきありがとうございます。
初めに, お手元の資料の確認をさせていただきます。

本日の資料はクリップ留めしたものから確認しますと, まず1つ目, 今回の委員会の会次第, A4, 1枚のものです。それから続きまして, A3のサイズで2枚。1月の説明及びご意見を伺う会の開催結果, 3点目が, A3の4枚で, 資料ナンバーワンと書かれた校名アンケートについて。続いて, A4, 1枚で, 2.校名案の絞り込みと書かれたもの。そして, A3, 1枚の資料ナンバーツー, 開校までのスケジュール案。さらにクリップの外側に1枚, A4, 1枚で, A部会のスライド資料となっておりますが, 確認いただいて不足等ございましたら事務局にお伝えください。大丈夫でしょうか。確認ありがとうございます。では, 会議の進行を佐々木委員長お願いいたします。

委員長 皆さんおはようございます。土曜日の朝早くからお集まりをいただきましてありがとうございます。

本日は一委員がご欠席と伺っておりますが, みどりが丘小学校分離新設校設立準備委員会設置要領第六条第2項に基づき, 出席者が過半数を超えておりますので, 本日の会議は, 滞りなく成立することを宣言いたします。

只今より、第3回「(仮称)みどりが丘小学校分離新設校」設立準備委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の次第に従って進行して参ります。まず初めに、一番、報告です。

『(1) 説明及びご意見を伺う会』の開催結果について、事務局よろしくお願いいたします。

学務課員

お手元に資料といたしまして、「みどりが丘小学校分離新設校に係る説明及びご意見を伺う会」の質疑応答をまとめたものをご用意しております。ご覧ください。

こちらは令和6年12月13日金曜日、12月21日土曜日、2日間にわたりまして開催をさせていただきました。この2日間で88世帯、113名の方々にご参加いただき、様々なご意見をいただきました。こちらの内容につきましては、すでに教育委員会のホームページにも掲載しております。

一部内容を紹介いたしますと、「学用品について分離新設校に移動した際に、どの学用品が引き続き使えるのか、早い時期に明確に示してもらいたい。」あとは、「県道61号線を通る通学路の整備について、高架下の横断歩道の設置や、歩車分離式の信号への変更、歩道の整備などをより強く要望してもらいたい」といったご意見をいただきました。

ご意見を伺う会の報告については以上になります。

ここでもう1点。追加でご報告がございます。現在、西高津小学校の学区となっておりますシティハウス八千代緑が丘にお住まいの児童の現在の状況についてです。

シティハウス八千代緑が丘に居住する児童は、通学支援車両を利用して西高津小学校へ通う予定でした。しかし、当初の予測よりも居住する児童数が少ないため、子どもや保護者の通学にかかる負担等を考え、教育委員会において対応を検討いたしました。

令和8年度の分離新設校の開校までの間に大幅な児童の転入等の見込みもないことから、希望をいただいたご家庭については、至近の新木戸小学校に通っていただくことが良いだろうという判断をさせていただきました。

対象のご家庭に希望を確認したところ、皆様が新木戸小学校への就学をご希望されましたので、来年度につきましては、新木戸小学校に通っていただくこととなっております。

現在、分離新設校の開校までにシティハウス八千代緑が丘から西高津小に通うことになる児童はいないのではないかと見込んでおります。報告は以上です。

委員長

ありがとうございます。

『説明及びご意見を伺う会』の開催結果について、今説明がありましたが、ご質問等ございますでしょうか。はいどうぞ。

委員

質問というか、意見を言わせていただきます。12月21日の第2回の方に私出席させていただきました。

私、第1回、第2回と全部出席しているのですが、以前に開催された2回分よりも、非常にスムーズに雰囲気も良く終わられたのかなと思っています。特に一番説明をされるのに苦労されたことだと思いますし、準備された保健体育課の皆様には感謝を申し上げたいと思っています。

1回目は、なぜそもそも分離するのだということで、雰囲気が悪くなるのは当然かなと思うのです。2回目のときに、施設の小学校をどう作るかという話がメインでなぜなのだ

というところを解決されず、かつ学校はこういう風に作るけど、通学路について全く説明がなくて、保護者の立場からするとその説明が1つ間に挟まれるだけで、2回目に行われた施設の説明を雰囲気よく行われたのではないのかなと思うので、今後行われるときにはご配慮いただければと思います。

私は、実は学校を作ってくれる工事会社さんには、一生懸命説明をしていただいたので、拍手をしようかなと思ったのですが、場の雰囲気が余りにも陰悪だったので拍手もできず、誰も拍手せず、なんて失礼なのだろうと思ったのが正直な感想だったので、何かそういう自然なことができるような会議を間に1回挟んでいただければと思います。

委員長 ありがとうございます。

貴重なご意見をいただいたと思いますし、今後の参考という形で使わせていただければと思います。ありがとうございます。他にご意見、ご質問等ございますか。どうぞ。

委員 1つ質問なのですが、先ほど補足でおっしゃっていただいたシティハウスの子どもたち、新木戸小学校にしばらく通うということだったのですが、これは新設校が来年度開校した場合には、新木戸小学校から、新設校に行くということなのか、そのまま新木戸小学校というようなことなのか、そこもお願いします。

学務課員 令和8年度、新設校が開校するまでの期間ということでご説明させていただいて、ご承諾いただいております。

委員長 他はよろしいでしょうか。

では、特段ご意見が無いようですので次に進めさせていただきます。

(2)「学校運営協議会及び地域学校協働本部」についてです。ご説明、C部会よろしくお願いいたします。

生涯学習
振興課長 本日C部会の方からは3点。1点目が、保護者組織について。2点目が、学校運営協議会について。3点目が、地域学校協働活動について。この3点につきましてご報告をさせていただきます。

まずご報告する内容ですが、みどりが丘小学校の学校運営協議会のご協力を得まして、11月13日に意見聴取をさせていただきました。

また、新木戸小学校の学校運営協議会に、ご協力いただき、12月16日に意見聴取をさせていただいた内容のご報告となります。

まず1点目の保護者組織についてです。みどりが丘小学校はPTAではなく、開校時から保護者会として活動しておりまして、分離新設校では保護者会の組織を予定しているとのことでした。また、新木戸小学校につきましてはPTAを組織しておりますが、コンセプトとして「みどりが丘小学校の分離新設校」であることから、みどりが丘小学校の保護者の意見を尊重したいとするものでした。

2点目、学校運営協議会についてです。学校の抱える様々な課題等を学校と地域で共有できるよう、令和8年4月の開校と同時に学校運営協議会を設置いたします。また、令和7年度、新設校学区の保護者等をみどりが丘小学校の学校運営協議会の委員として任命し、1年間、一緒に活動することで会議の流れ等を把握していただきます。

3点目、地域学校協働活動についてです。この高津・緑が丘地域につきましては、高津・

緑が丘地域学校協働本部がすでに組織されており、地域内の小中学校 7 校すべてを包括し、学校運営協議会と一体的に活動しております。令和 8 年 4 月以降、高津・緑が丘地域学校協働本部が、新設校も含めて活動するということを伺っております。

C 部会の報告としては以上になります。

委員長 ありがとうございます。

只今ご説明をいただきました、学校運営協議会及び地域学校協働本部の件について、ご質問ご意見等あれば、挙手にてお願いします。よろしいでしょうか。

では、次に進めさせていただきます。

それでは 2 番項です。議事に入って参ります。

(1)「芝生」について、A 部会よろしくをお願いします。

教育総務 本日は芝生についてですが、資料配付が当日となりまして申し訳ございません。

課長 早速ですが、第 1 回設立準備委員会におきまして、学校施設の概要について説明をいたしました。その後、委員の皆様にごいただいたアンケートの中で、校庭の芝生についてのご意見、管理面のご心配、ご懸念を中心に多くいただいたところです。そうしたことから、令和 6 年 10 月 19 日に開催しました A 部会、第 1 回作業部会において施設整備に関しては、芝生について中心に協議をいたしました。

第 2 回設立準備委員会で報告いたしました芝生についての整備内容を、令和 6 年 11 月 15 日に開催いたしました第 2 回作業部会において、検討いただきましたので、本日の設立準備委員会で報告させていただきます。

また、施設整備の都合上、今月中に校庭の整備内容を決定する必要がありますので、本日この委員会で整備内容の決定をいただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、11 月 15 日に開催した部会の報告をさせていただきます。芝生の整備内容について協議いただきました。前回の委員会で、事務局案としておりましたインフィールドを芝生にすることについては、体育の授業の際に芝生の上からラインを引きづらくなる等の一定の制限がありまして、授業の自由度が低くなるといったご意見があり、これが課題となっております。また一方で、全面を岩瀬砂とすると砂の飛散や緑化面積の確保について課題がありました。

そこで部会の中で新たな事務局案として、アウトフィールド部分を芝生とすることを提案いたしました。アウトフィールドについては芝生とし、インフィールド及び走路を岩瀬砂とする案です。本案は、フィールドが芝生の場合と比較すると、芝生面積が 3 分の 1 程度に減少。緑化率に必要な面積は確保可能となっており、外回り部分を芝生とすることで、砂の飛散の軽減を図るといった案でございます。主に体育で活用するインフィールド及び走路は岩瀬砂のため、ラインが引きやすく様々な授業に対応可能となり、遊具エリアのあるアウトフィールドは芝生とすることで、遊具を使用する児童のけが防止に繋がるといった利点もございます。このアウトフィールドを芝生とすることを部会で検討した結果、みどりが丘小学校分離新設校は市内の他校と比較すると、グラウンドが狭いため体育が実施しやすい岩瀬砂の面積をなるべく確保するといった観点から、管理棟側及び校舎棟側の一

部を岩瀬砂に変更し、芝生をかぎ型に配置した案を部会の最終案として出すこととなりました。

また、植える芝の種類ですが、部会の中で事務局から日本芝、西洋芝、その他の植物でメリット・デメリットを説明させていただき、協議いたしました。部会の最終案としては、雨に強く西洋芝に比べ手入れの手間が少ない日本芝が分離新設校に適しているということで選定いたしました。

以上の部会最終案を本日の委員会でご承認いただきたく、提案をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

委員長 ご説明ありがとうございます。

芝生の件はこの会議体の中で何度もお話がありました。ご意見ご質問等あれば、挙手にてお願いいたします。

委員 もうすでに色々のご検討されているかと思うのですが、課題としてご提示いただいている砂の飛散という部分について、特にこの地域、3日前に風速10メートルぐらい吹いているもので、今後何らかの対策をご検討されているのか、それとも致し方ないものとして考えているのか、どちらかというところをご意見だけ伺えればと思っております。

教育総務
課長 先ほども簡単に触れさせていただいたのですが、外周部分に一部芝生を残すことで、多少緩衝帯になるのではないかとということと、また他の学校も主に岩瀬砂が一般的なところで、水をまく等の手間は生じるのですが、芝生の管理よりは大分楽ではないかというようにお話もいただきまして、飛散対策としては水をまくということで解決していきたいと考えております。

委員 ありがとうございます。

委員長 他にご意見ご質問ありますでしょうか。

では意見質問等がないということでございます。

それではこの議案、A部会から出されました芝生案ですが、このような形で進めていただいてよろしいでしょうか。よろしいですね。ありがとうございます。では議事(1)を終わります。

続きまして議事(2)です。校名案候補の作成の件です。B部会よろしくお願いいたします。

指導課長 それではB部会になります。資料が2つ用意あります。まず1つはパワーポイントの内容を少し簡略化したものが1枚。それからホチキス留めをしてある校名案の1冊になります。それらをご覧いただきながら、説明をいたします。

まずB部会ですが、この第3回設立準備委員会において、校名案候補の作成を議題として、皆様にご協議をいただければと思います。

初めに、校名案を絞り込むにあたりまして、この分離新設校の前提及びコンセプトの位置付けを改めて確認させていただきます。

前提として、「みどりが丘小学校から分離して、新たに設置する小学校である」こと。また「15～20年後を目途に、みどりが丘小学校に戻る小学校」ということが前提となっております。基本的なコンセプトとして、『みどりが丘小学校の連携校』を基本に据え、当該

地区の校長先生、教職員、子どもや保護者、地域の住民の皆様によって、コミュニティ・スクールとして作られていく学校」となっております。このことをもとに、分離新設校の位置付けをわかりやすく図式化すると次のようなイメージになります。令和8年4月の開校時に、みどりが丘小学校に通う児童のうち、学区変更の対象となる児童が分離新設小学校に移ります。分離新設校は『みどりが丘小学校との連携校』という基本的なコンセプトに基づき、当該地区の校長先生や教職員、子どもや保護者、地域の住民によってコミュニティ・スクールとして作られていく学校」として開校していく予定となっております。

15～20年後にみどりが丘小学校と分離新設校の児童数が落ち着き、みどりが丘小学校で収まる状況になった場合、分離新設校に通う児童はみどりが丘小学校に戻ることであります。以上が分離新設校の位置付けのイメージとなります。

この後ご説明いたします 66 件から、校名案の絞り込みをするにあたり、基本的な考え方をもう一度確認させていただきます。こちらは第2回の設立準備委員会で、皆様にご了承いただいている内容ですが改めてお示しいたします。

まず、コンセプトをもとに親しみや愛着が持てるもの。4つの視点ということに説明をさせていただきますが、この3つを基に、このコンセプトを基にということで、1つ区切らせていただいて、1つ目、2つ目、3つ目、4つ目と、この4つの視点ということで説明をさせていただきます。それから他市等に類似の校名がなく、誤解されることがないもの。また難しい漢字を使わないものとなっております。コンセプトの中には、児童数の状況を見て 15～20 年後にみどりが小学校に戻るということも再度確認をさせていただきます。

続きましてアンケート結果になります。こちらの冊子の方をご覧くださいながら、ご確認をお願いいたします。まず、校名アンケートの結果につきまして報告いたします。みどりが丘小学校の児童、保護者、教職員、新設校の対象となる地域の方々にアンケート調査を行い、107 件。校名としては、66 件の回答をいただきました。

表の見方について説明をいたします。まず1枚目の左上に A と書かれております、「みどりが丘小学校のルーツに発想を得たもの」として、1 番から 12 番までの読み方が挙げられました。その中でも保護者等の意見も参考に、緑色の網掛けになっているものを B 部会にて拾い上げたものとなっております。また、2 列目の複数の表記がある学校名で、太字、緑の網掛けになっているものがあります。例えば、1 番の「きみどりがおか小学校」という読み方について、3 件ありますが現在のみどりが丘小学校のように、ひらがなと漢字の使い方を同じにしたいというようなご意見がありまして、真ん中の書き方の「きみどりが」までがひらがな、そして他については漢字の表記となっており、この書き方が望ましいということで選定をしております。

また、備考欄の情報につきましては、他市の類似情報名など、B 部会で調査したものを記載しております。

同じように、2 枚目につきましては、左上に B 「地名に発想を得たもの」。こちらが 1 番から 20 番となっております。例えば、13 番一番上にありますが、「大緑」のように、『大和田』と『緑が丘』の地名から発想を得たものというようなイメージとなっております。

そして3枚目4枚目につきましては、左上にC「思いや願いなどのイメージから発想を得たもの」が、21番から66番と2枚となっております。このような子どもたちになって欲しい。このような学校になって欲しいという思いや願いがこもっているものでまとめたものとなっております。

そして先に今後のスケジュールを説明させていただきますが、本日、6案程度に絞り込みを行っていただいた後に、予定としましては2月25日から3月7日に校名のアンケートを子どもたちに実施します。3月21日にアンケートの集計をB部会で報告し、4月から5月に予定をしております設立準備委員会にて、最終決定案を決めていきたいと考えております。

この後の作業していただく内容に移ります。

1つ目は、B部会での11案を提案させていただきます。この11案が、先ほどお示しいたしました基本的な考え方を含め、ふさわしいかどうかということで協議をしていただければと思います。

そのあと2つ目としましては、B部会で提案された案以外の中から拾い上げるものがないかを検討していただければと思います。

3つ目としましては、基本的な考え方や備考にも記載していますが、懸念事項を確認し、それが大きい、または多いものを削る形で6案程度に絞り込みを行っていただければと思います。

以上となります。協議の方よろしく願いいたします。

委員長 ご説明ありがとうございました。

これが今日の会議の中のメインかなと思うところです。今のご説明の中にもありましたが、みどりが丘小学校さんや近隣の方々も含めて107件66案の校名案をいただいたということです。

選定の中で緑色に網かけをした11案、これはみどりが丘小学校の保護者の方、学校にお越しいただいて選定をしたという経緯もございますので、そのところのご説明を副委員長からしていただければよろしいでしょうか。

副委員長 1月25日に2回に分けて、保護者の意見徴取ということで開催させていただきました。通学路のときと同じような形で、1年生から3年生の保護者にご案内をさせていただき、特に「校名・校章等について」、また「体操服等に係る学用品について」皆さんからご意見が欲しいですということでアナウンスをさせていただき、希望者は20世帯ぐらいでした。当日天候がよろしくなかったもので、参加者は12名です。そこで出た百幾つのこの網かけが無いものということで、皆さんに見ていただく中で自分だったらこれがよいなということで、たくさん意見をいただいたものが、今回緑色になっているものです。1人の意見もここに載っております。たくさん意見も載っております。数字としては出ておりませんが、先ほど指導課長からもあったように、本校と同じ「みどりが丘」を使って欲しいというのは共通しておりました。

また、6年生が保護者の代わりに出ていたのですが、その6年生からは子どもたちの間では、「『第二』というのはダサいよね」という話題が出ていました。

それから、今度できる自分たちが行く学校だから、自分たちの意見を話し合いに載せて欲しいという意見もありました。また、15年～20年後に無くなってしまいみどりが丘小学校に戻るのだということも、皆さん意識された話し合いとなりました。

委員長 ありがとうございます。

これまでの指導課長のご説明と副委員長のご説明の中で、委員の皆さんご質問等あと不明なところがあれば挙手にてお出してください。わからない点は特に今の段階ではよろしいでしょうか。補足しますか。

委員 私もこの保護者を呼んで、話を伺う会に参加させていただいたのですが、皆さん気持ちが入っていて、子どもたちを通わせるためには寂しさがあってはいけないというのもあり、そのような気持ちが入ったアンケート結果にもなっているのかなという感じはします。「みどりが丘」という名前を残したい。戻ってくることも考えている保護者がたくさんいて、このような結果になったのかなというように感じました。

でもやはり子どもたちの意見だなというのかわいらしいので、その辺読んでいると微笑ましい感じではあるのですが、保護者やその子どもたちの気持ちを汲んだ学校名になったらよいなと思っております。

委員 私も参加して司会をさせていただきました。実際、やっていて本当によかったなと思うのは、私たちが思っていたのと全く違う回答もいただきましたし、行くことばかり考えていたのですが、戻ること保護者が考えてくれているというのがすごく微笑ましくて、嬉しかったというところがあります。あと、大人の観点と子どもの観点では違うのだなという面白さもありまして、どれに決まっても恥ずかしくない名前だなと思っております。

委員長 ご説明ありがとうございます。先ほど申しましたが、ここまででご質問等なければ、協議に入って参りますがよろしいでしょうかね。

それでは、スクリーンにも出ております4つの視点でということと、あとは何より107件、66案の意見を出していただいたものの中から、みどりが丘小学校の保護者の方、そしてB部会の中で選定をした緑色がついている11件です。まずこの11件を尊重していきたいと思いますので、11件の緑色の案の方について、先ほどの4つの視点をもとに、校名案としてこれはまずいのではないかとということも含めて結構です。当然これがよいというものも結構なので、そのような視点で11案に限って少し見ていただいてよろしいでしょうか。事前配布の資料ではありますが少しだけお時間を取りますので、読み込んでいただいて、ご意見をいただこうと思います。よろしくお願いします。

委員の皆さんよろしいでしょうか。もう一度繰り返しますが、緑色に網かけをしている11件、そちらの件についての協議をしていきたいと思います。

ふさわしくないという見方、そしてこの案がよいなという見方、両方結構ですのでぜひご意見をください。どうぞ。

委員 資料C-1の24番の「やっち」なのですが、これは八千代市としてのキャラクターを代表する名前が使われているので、単体の学校として使うことはやめたほうがよいのではないかという意見です。

委員長 ありがとうございます。まず聞いてしまいましょう。他のご意見ありますでしょうか。

どうぞ。

委員 同様に「やっち」というところに関しては、少し私も違和感があって。八千代市のマスコットキャラクターはどの程度認知されているのだろうかということであったり、小学生が高校生、大学生になって、昔の小学校は「やっち小学校」だと言われたときに、周りはどのような反応するのかなというところを考えたりしたときに、個人的にはないのかなというのは思いました。

あとは、あと副委員長もおっしゃったように、第一、第二という区分けというのは、何か昔ながらのイメージ、画一的に第三中、第四中とか、一から十まで数字で機械的に決まってきたような印象があり、とても冷たい印象を覚えてしまうので、「第二」というところもやめたほうがよいのかなというのは個人的な意見です。

委員長 ありがとうございます。

ご意見挙手にていただければと思います。はい。

委員 これを見ると、子どもたちは地域の方々の思いや願いがすごく詰まっているのだなというのを改めて思ったのですが、やはり学校名は私の感覚としてその地域が連想できるというのもすごく大事なことなのかなとは思っています。

例えばCの一番上に書いてある「どれみど」というのは、どうしても習志野の「ナラシド」を思い浮かべてしまい、「みんなの」或いは「やっち」とかも先ほど出ましたが、そのような小学校名がつくと、他地域の方から見てそれはどこの学校なのだろうということもあるので、私はどちらかというと地名や地域、或いは他地域から見たときにその学校名から、ここにあるかなというところを連想できるような学校名がよいのかなというように思いました。

委員長 ありがとうございます。他にご意見いただけますでしょうか。どうぞ。

委員 私も古い人間なので小学校とか中学校は、その場所の地名というか、そのような印象があるので、正直C案全般的に色々と考えていただいていると思うのですが、学校の名前にふさわしいかと言われると少し違うかなと思います。

Bの「大緑」、「新緑」、「はぐみの杜」で、「はぐみの杜」は私のイメージとしては、みどりが丘小学校の南側のはぐみの杜保育園とかがある辺りが「はぐみの杜」の特に印象が強く、そこから道路を渡ってコンビニエンスストアの方とか、まさに通う子どもたちが行くあたりは、「はぐみの杜」かと言ったら、その印象としてはあまりないというのがあるのと、「新緑」というのも、その場所を指し示すかというところではなく、「新緑小学校」と聞いてどこなのかというのはわからない。「新緑」で、基本的にみどりが丘小学校の方がメインなのに、先に新木戸小学校の「新」の字が来るのがどうなのだろうとかもあり、私の中ではAのルーツのところが一番検討しやすいかなと思っています。

ただ、「きみどりが丘」と聞いてなんだろうとか、「第二」というのは先ほどおっしゃれたとおり昔の感じがあるのと、まさに第一はどこなのか、順位づけされるような感じがあり、また「新」というと「旧」はどこなのかというような感じになってしまい、なかなか難しいのですが。ただ、私はAをメインに考えて、Bを何かプラスアルファ6案に加えるのであれば、Aを基本にBの案を取り入れて6案を検討するというような形がよいのかな

と思いました。実は「みどりが丘西」というのも、地名としては「緑が丘西」ではないので、どれも一長一短あるのですが。

委員長 ありがとうございます。

今のお話だと、A案がかなりよいのではないかということがお話のメインだと思うのですが。聞いているとA案も全部なくなってしまったような気がするのですがA案だとするとどれを残しましたか。

委員 私は実はですね、107件もアンケートが来ると思っていなくて、1件もなかったら嫌だなと思って、1件だけ入れたのです。それが「みどりが丘西」なのですが、小学校の建つ場所が「緑が丘西」ではないことは自覚しています。ただ通う子どものメインがどこかという、緑が丘西だからと思って残すのだったら、自分は一番感覚的に。僕らの時代は、小学校の名前は行政が勝手に決めるものなので、アンケートなんてそもそも実施してない世の中だったから、そのような時代に育っている人間だから一番それに近いというか、パツと言われてイメージつきやすいものどれかと言われてたら、4番かなという感じがします。

委員長 お話の要旨としては、A案がよいけどBとCは違うよねというのでよろしいでしょうか。

委員 ただ、6案残すわけじゃないですか。

委員長 はい。

委員 6候補にするので。

委員長 6候補程度ですよ。数は特に決めてない。

委員 なるほど。そうですね。だから、Cは少し違うかなという話です。

委員長 了解しました。ありがとうございます。Cは少し違うということでした。他にご意見いただけますか。お願いします。

委員 先ほどの意見に私も近いのですが、A案でいうとやはり、「新」と「第二」というのはやはり「旧」と「第一」がどうなのという話になりがちかな感じがします。「きみどり」というのもみどりの分離校だから「きみどり」みたいな何かちょっと色薄いねみたいな感じの印象もあるので。駄目ではないかもしれないけれど今ひとつかなと思います。「はぐみの杜」も確におっしゃった通り、随分位置がずれている感があると思います。C案に関しては多分皆さん思いが結構違うので、どれも素晴らしい名前だと思うのですが、好き嫌いが発生してしまうので、これに関しては色々な立ち位置で上げてもらって、選んでいただくというのは反対ではないです。皆さん思いがとても乗っていて、本当に色々な気持ちが入っているので、それはそれで尊重してあげてもよいのではないかなと思うのですが、無難なところとなるとやはり、A案の中になるのではないのかなと思っています。しかし、そこまでこちらが決めることではないかもしれないので大体同じような意見です。ただ「緑が丘西」は地域名として、その案の中で私は一番よいかなとは思っております。

委員長 今のお話では「緑が丘西」が一番よろしいということですね。最終的に無難なのですね。どうぞ。

委員 上げたときに、ちょっとそれないよねという方は少ないのかなと。

委員長 了解です。他にご意見いただけますでしょうか。お願いします。

委員 今回の基本的な考え方に則って色々と見ていきますと、難しい漢字を使わないものであるとか、あと誤解されることがないものというようなことを鑑みると、AもしくはBの中になるのかな。大枠Aの中になるのかなというように思っております。

私たちPTAとか保護者会の立場からすると、みどりが丘小学校さんというのは結構長いので、通称「みど小」と言っています。「みど小」という学校がある中で、みど小の分離新設校というようなところなので、そのまま「みど」がついたまま短縮系で呼べるというようなことでいくと、「みどにし」というところは、一番、我々サイドからするとしっくりくるようなところ。「みどに」という言い方もあるかもしれませんが、やはりみどりが丘小学校の分離新設ということがありますので、「みどり」という部分は生かしながら、確か学校の住所は大和田新田になると思いますが、みどりが丘小学校の分離新設校という立場からすると、基本ベースはやはり、Aの中からなるのかなという感触をもっています。

委員長 ありがとうございます。ありますか。どうぞ。お願いします。

委員 アンケートというか、名前を見て皆さんの意見と同じで、大体A案でまとまるのかなと思っていました。思いや理由があるので、それぞれ有り得ないだろうと言ったら失礼なのですが、C2とかC1下の方とかもありますが、この名前は無いかなとは思っているのですが、思いや理由を皆さんが色々と考えているなというのも考えると、リストはもう上がっているのですが、例えば「みどりが丘希望小学校」、「みどりが丘のぞみ」ようなの合わせ技でもよいのかなと思いました。AとC2の言葉、「光」とか「颯（はやて）」とかそういうものがありますが、どうなのかなと思います。A案、主流でよいのかなと思います。

委員長 ありがとうございます。

今のご意見の中にあった、合わせたらという話いただきました。

実は後程、そのような手法もあるよねというのを話ししようかとは思ってしまして。ありがとうございます。逆に言っていて。

先ほどから申しています緑色の11件についての懸念という形でお話を進めさせてください。皆さんから大体ご意見いただけたかと思います。概ね何がよい、何が悪いということではなくてAがまず主流だよねと。やはりそのルーツ、その地名、そこに発想を得たものというA案。ここで分けて数として、課長4個でよいですよ。まず4個があるのかなと。BとCについては皆さん色々ご懸念をいただいております。ちょっと違うかなという意見もあります。

この今日の会議体の中では、今緑色の部分を最初にお話をしていますが、その次に緑ではない白い部分も含めて全部で66件、この中で拾うべきものがあるかというのは、その次にやろうと思っていました。先ほど言っていたように、合わせ技も含めてなのですが、そのような手順で行って結果、6個程度、別に6個に決まりません。もしかしたら8個かもしれませんし、もしかしたら3個かもしれない。数は特に決めませんが、6個程度かなというところで、今日の会議の最終的な結果としては数を絞って校名候補を決めていき、それを小学生たちにアンケートを取る。みどりが丘小学校の子どもたちに選ばせるということを2月25日からやらせていただこうというところでございます。

まだ、今皆さんのお力を借りてふるいにかけている状況ですが、まずA案はマルもバツもすべてつきました。非常にまとめづらいのですが、A案は4個あります。今度B案とC案で残すべきもの。残すべきものを緑色の7つです。Bから3つ、Cから4つです。「大緑」、「新緑」、「はぐみの森」、「どれみど」、「みんなの」、「やちよの森」、「やっち」。この7つの中で残すべきものはあるかなという聞き方をさせてください。今の皆さんのお話を聞くと、この7つとも落選をします。ここでふるいから落としますが、ご意見の中に思いが入っているという言葉がありましたので、残すべきものと思われるものであれば教えてください。無いですか。BとCの緑色は落としてしまいますがよろしいですか。皆さん、ご同意でよろしいですね。では、BとCの、この7つの案は、懸念ありということで落としていきます。

よってA案の4つは、先ほど来「第二」という言葉が、ネガティブだよねという意見や、「みどりが丘西」は、本当は方位的に西ではないとか色々なことはあるのですが、まずは残していくという形でよろしいでしょうか。この4案を残していきますがいかがですか。ご意見、特に反対なしとしてまず4案こちらでいきます。

そして今度はフィルターの第2番目です。緑色ではない残りの55件の中から、もうお目通りをいただいていると思いますので同じ聞き方をします。ぜひ残すべきもの。これは残してあげたいなというものがあれば教えてください。

副委員長

B部会のお話すればよかったのですが、そのあと職員と話している中で、そもそも、みどりが丘小の南に位置する学校なのではないかということや、あと萱田小学校とか萱田南小学校、萱南小と私は言っているのですが、萱南小も同じように、15年とか20年でまた戻るといった感じではなかったのかなという話題にはなったのですが、そのあたりを教育委員会から教えていただけるとありがたいのですが。萱田小学校から萱田南小学校ができたとき、どのような位置付けで、萱田南小が設立されたのかということを確認させてください。

学務課長

今のご質問ですと、平成19年度になりますでしょうか。萱田小学校から分離新設ということで、当時新しい学校ができる。平成19年度に最終的に萱田南小ということで、学校の方ができております。これ私も担当課の仕事として過去に調べたことがあるのですが、その時は分離新設でいずれ地域人口が減っていったときに、学齢児童数が少なくなったときには、萱田小に戻るといような今回と同じようなつくりになっていた学校でした。

当時、皆様と同じような組織で校名を含めて様々な検討をしていただいて、校名でいえば案ができたのですが、これ話がずれてしまっているかもしれないのですが、皆様にも確認いただいた方がよいかなと思うのでお話しますが、この委員会で校名等を含めて決定をするのですが、関係法令規則の関係で最終的には教育委員の皆様の集まりである教育委員会、さらには市議会の議決を必要としております。

そしてこちらは承認ではないのですが、県教育委員会に提出と報告をしていくというように一連の流れで、校名含めてすべてが定まるといような流れとなっております。

そのことから、当時も萱田南小という名前に定まるのに、皆様と同じような組織で決め

た案があり、その後教育委員会、市議会と運んでいく中で、簡単には進まなかったというようなことがあるというような話は私も聞いております。ですので、そのことをなぞらえておくと、その後の運びのこともイメージして、理由もしっかりしてなければいけないでしょうし、多くの方にご承認いただけるような校名にしておく必要があるのかなということは、当時のことを重ねると思うところがございます。最終的に萱田南小ということで、委員会原案だったのですけれども、それがきちんと通っていったというような経緯がございました。

副委員長 ありがとうございます。職員から出た案なので、萱田南小はどうだったのかということとで今教えていただいたのですが、緑が丘の位置としては南に位置していて、「みど南小」という言い方も、もしかしたらあるのかなということで候補として残していただけると嬉しいなと思っています。

委員長 今ご意見では、Aの10番「みどりが丘南」というのが、ご意見として残していただけるかという旨でございます。他にご意見いただけますでしょうか。

今の学務課長の話を聞いてしまうと、奇をてらったものを出すと何か跳ね返されるという何か嫌な予感がするのですが。

学務課長 ただ、それは15年以上前のことですので、先ほど委員さんもおっしゃっていましたが、当時は行政で基本的に決めていく。地域の皆様のお声もいただきつつではあったのですが、ここまで地域の皆様に参加いただいて、委員会を組織して決めていくという運びではなかったものですから、そのことを踏まえますと子どもたちへのアンケートをとっていくということもかなり丁寧に、また当該校の保護者の皆様からも聞いていただいているので、その辺りはもう存分に生かしたお名前を提示いただいて、検討の上、定めていただくというのがよいのではないかなというような気はしております。組み合わせるようなことも含めて、もし何かあれば、ぜひ、委員の皆様でよろしくお願いします。

委員長 ありがとうございます。

そうですね。先ほども委員からお話をいただきました。これ、組み合わせていくと実は無限に広がっていくのですが、少し申し訳ないですが皆さんのお知恵を借りられるとありがたいです。

今は、A案の中の緑の4つと、あと「みどりが丘南」というのが出てきていますが、他に組み合わせも含めて拾うべきものをご検討ください。

では皆さんからご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。お願いします。

委員 すごく個人的な意見なのですが、Cの36番の「きずな」というのが、やはり災害が多い中で非常に大事とされている昨今だと思うので、この「きずな」というのは例えば「みどりが丘きずな」でもよいですし、よい言葉だなと思うのと、その下の「輝（きらり）」というのも何か、子どもたちの風景がキラキラしてよいなと思うので、この辺を入れられたらよいなと思います。

委員長 考え方としては、今おっしゃった「みどりが丘」につける言葉ですね。単体だと何だかわからないですからプラス案としてですね。

他にご意見いただけますでしょうか。はいどうぞ。

委員 先ほど他の委員さんからもあったと思うのですが、学校名を呼ぶときに、「みど小」とか「新木戸（にいきど）」とか、「西高（にしたか）」とか、4文字ですっきりする感じというのは呼びやすく、学校名は正式名称としてあるにしろ、保護者の間でも子どもの間でも、「みど小」とかすっきりするような呼び方になるとよいのかなというのがあり、先ほど副委員長からも、「みど南（みどなん）」等の呼びやすいものもよいのかなという気がします。

委員長 ありがとうございます。他に、増やすという方向でございますか。よろしいでしょうか。では集約をして参りますが、まず先ほどお話をいただいた言葉を合わせてもよいのではないかという候補が、「きずな」と「輝（きりり）」ということをいただきました。「みどりが丘きずな小学校」なのか、「きずなみどりが丘小学校」なのか。「みどりが丘きずな」ですよね。

副委員長 今の意見と同じなのですが、そのような呼び名をしようと言わなくても子どもたちはそのような呼び名をしていくと思うのですね。そうしたときに合体作戦だと、今のでいえば、「みどきず」小学校とか、「みどきら」小学校とかになるのかなとか、他の全部そうなのですけど。それか、単体でいきましょうという見方になっていくのか、ということが懸念される場所はあるかなと。しかし、アンケートだからどのような形でも、みんなが選ぶか選ばないかというところでやるのだったら大丈夫かなと思うのですが、そこが懸念されるかなと思いました。

委員長 指導課長、先ほど申しました数を別に6個に絞ることもないという理解でよろしかったですね。

指導課長 はい。

委員長 もう1回選定の手順を言いますが、今日の会議で6候補程度出す。それで小学生たちにアンケートを取る。あくまでもアンケートです。ですから順位決めます。6個なのか8個なのかを順位決めます。それをまたこの会議体で順位決めにされたものの中から1つ選びます。それが次の第4回のこの委員会です。ということは数として、6にこだわりませんというのはそういう意味なのですが、子どもたちの目で見えたアンケートの数字が見たいという意味で、先ほどいただいた合体案も入れといってもよいのかなとは思いますが。

ご懸念というか今、略すとどうなるかというのはありますが、数として特に絞りませんので、また次のこの会議のときにちょっと数が多いと皆さんもう1回悩むということが多いだけの話なのですが。

何よりも今66個あるものを、このまま進められませんので、数を絞っていききたいというのが趣旨でございます。

それではまとめて参りますが、まとめる前にご意見ご希望どうぞ。

委員 アンケートなので、確かにその数があってもよいのではないかなと思うのですけど。

例えばこれで、「きずな」がアンケートでこう上がってきたときに、最後の呼び名のところで、我々でそれを蹴ってしまうような形になるのも、私はあまり良くはないかなと思っていて、あくまで「はぐみの杜」の名前がアンケートで一番になりましたが、「緑が丘西」になってしまったという地名の話が確か前回あって、同じようなことが今回行われるのは

あまり良くないよねと言った話があったと思うんですね。

実際に使いにくい名前をアンケートに入れて、それが上位になってきたときに、使いにくい名前のものを最終的には市議会にかけたりするのが適当かという、そこまで一応目線として考えてやったほうがよいのかなと思うので、例えば先ほどの4文字で略称をつけにくいのであれば、もうアンケートには入れないということも1つかなとは思いますが。

委員長 私意見も少し言わせていただければと思います。

略称は多分4文字でなくても。ちなみに私は、高津小学校なので、「高小（たかしょう）」ですね。南は「南高（なんたか）」だから、4文字なのかな。

略称は校名があればできてしまうと思うので、教育委員会や市議会の懸念は当然あるなということはある。

私、先ほど余計なこと言ったかもしれませんが、子どもたちにまずアンケートの材料として、今日の会議でお出しできればよいかなと思っています。

今ご意見いただいたように、やはりアンケートの順位は大事にしていきたいと思いますが、ただ残念ながら子どもの目線ですべてを決めるというのは非常に危険だと思っています。ここにいらっしゃる皆さんは、地域の中でそして学識経験もある方々ですので、第4回の会議で大変になるかもしれませんが、子どもたちがランクを付けたもので、残念ながら3番目を選ぶかもしれない、7番目を選ぶかもしれませんが、その後はご担当の課長達に頑張っていただいて、教育委員会を通してもらいましょうという話になってくるかなと思います。

委員 アンケートの取り方についてお聞きしたいのですが。

まずこのアンケートは、みど小の全校の児童にお願いするのでしょうか。それとも、分離新設校に移動される方を対象とされるのでしょうか。

あと、先ほど委員長からもありましたが、大人と子どもの意見は違ってきますので、大人のアンケートは、小学校に通う児童の保護者のアンケートをとろうというお考えはないのでしょうか。また、アンケートは単純に丸を付けるだけなのでしょうか。その選んだ理由というのも記載していただいた上での返却なのでしょうか。

その3点をお願いいたします。

指導課長 今回の質問の内容につきましては、この後アンケートを作成するにあたって、対象をどこにするとか、どのような記載の仕方をするかというのは、またB部会の方の皆さんのご意見を伺いながら、決めようという形で考えておりました。皆さんの意見をいただきながら、アンケートの取り方についても、ある程度方向性を決めていただけると助かります。

委員長 ありがとうございます。

校名案を決める前段というか、先になるか後になるかですが、今アンケートの件についてご意見がありました。課長、当初考えていたのは、対象の子どもたちだけを切り取ることは非常に難しいのでしょうか。

指導課長 みどりが丘小学校の分離校に通う対象の児童となると1年生から3年生という考え方もありますし。

副委員長 よろしいですか。学校において対象児童だけにアンケート取るのは非常に厳しいです。

ですので、学校でやるのであれば、もう子どもたち1年生から3年生になりますが、任意でこの前の校名アンケートを取ったように、メール配信を任意で家族で出してくるという形が学校としてはありがたいです。

ですから、アンケートを出す人もいれば出さない人もいるかもしれない。

今学校の中で、分離新設校の対象者はあなたたちですよということをやっていないので、対象の児童だけ呼んでアンケートというのは厳しいです。

委員長 そうすると1年生から3年生の学年の児童にまずは絞れるよと、メール配信を使うと家庭向けにもできるよという意味でよろしいでしょうか。

指導課長 例えばもう少し細かくということであれば、アンケートを記載した方の中に、保護者なのか、1年生から3年生なのかというところの項目を入れておくと、またこちらにアンケートの結果が来たときに、通う子どもたちの思いを優先すべきではないかとか、そのような意見が出ることも考えられますので、少しその辺の内容もわかるようにしていきたいと思います。

委員長 では対象は、1年生から3年生の全児童ということで、よろしいでしょうか。それでお願いをしていきたいと思います。

詳細は、B部会でまたやろうと思っていましたが、今日全体の会議の中で、アンケートについての骨子は、ご意見もいただきながら決めていきたいなと思いますのでイレギュラーな話をしていますけどもよろしくお願いします。あとは先程の質問が、選定した理由を書けるかどうかですね。そのあたりは意見としてはいかがですか。

委員 先ほどアンケートの要は選んだ理由を書けるかということに関しましては、私たちが単純に数字だけを見て決めることなく、子どもたちがどのような思いでそれに丸をつけたかを確認する上でもあったほうがよいと思っています。

あと、大人と子どもの考え方が違うのはもうわかっているので、大人に関してもアンケートをいただいたときにどうしてそれを選ばれたかというのを、私たちがそれを見て判断できる材料としてあった方がよいのではないかというように考えております。

委員長 集約をしていきましょう。

1年生から3年生に取ります。そして、保護者は前回みどりが丘小学校で意見をいただきましたが、参加人数が12名とおっしゃいました。非常に人数が少なかったようですので、保護者も含めて児童、保護者に向けてのアンケートを取れますか。任意ですね。その中には、意見・コメント欄をつけていただきます。選び方は、「一番よいもの1個だけに丸」にしませんか。数が多くなりすぎますので。違うぞ、こっちの方がよいぞというのがあれば教えてください。どうぞ。

委員 アンケートというのは、住所等書く欄があるのですか。任意のアンケートというのは、先ほどの課長の話で、その地域の人、子どもとか保護者であれば、重きをおけるような、アンケートの集計方法ができるような形でお話されていたと思うのですが、そうするとそのアンケートに住所と名前を書くかどうかと。校名をどれか1つ選んで、理由を書いてという形になるのですかね。ですから、集計した結果としてその数のうち、当該地域に住む子どもや保護者がどれに入れたかというのも一応把握できるような形ですか。

委員長 重いか軽いかは別にして、地域が外れているか当たっているかがわかるという意味でよいですね。了解しました。他にご意見ありますか。

アンケートのとり方はそのような形でよろしかったですか。またB部会でも、詳細はどのようにやるかも含めて決めさせていただきますが、骨子のご意見をいただきました。ありがとうございます。

それでは戻りまして、アンケート案を作りましょう。子どもたち、そして今のお話の中で保護者もアンケートの対象になりましたが、その方々に示すべきアンケート案です。今のところ、Aの1番2番3番4番そして10番ですね。10番は「みどりが丘南」が入ってきていると認識しております。そして、重ね言葉でお使いになれるかなというところで、C-1のページですね。36番、37番、「きずな」と「輝（きらり）」のご意見をいただいておりますので、途中になってしまいましたが、イメージは、「みどりが丘きずな小学校」で合っていますよね。「みどりが丘きずな小学校」と「みどりが丘輝（きらり）小学校」を2つ足させていただければ、皆さんのこの委員会の意見になりますが、都合7つですね。他にご意見は。

委員 シンプルにBの20番「八千代みどりが丘小」は、通称しても「やちみど」となるのかなと思ひまして。この地域について名前とあと駅に近いというのをとり合わせたものもどうかかなと思ひました。

委員長 ありがとうございます。

ただこの名前懸念されるのは、八千代市立八千代みどりが丘小学校になってしまうのですよね。重なってしまうような気もするし、なにか長い気もするし。

ただ、確かにおっしゃるように「やちみど」というね、略称を使えるのですよね。あとはなにか、八千代緑が丘駅を取ってしまったので、そういう懸念も少しあるのかなと思いますけどどうですか。入れますか。削除でよいですか。ご意見ありがとうございます。

今都合7というところまで、皆さんにご理解がいただいているような気はしますが、他は足すべきもの、そして7つに対して、いらないというのがあれば教えてください。最後のジャッジにしましょう。今、1番から4番そして10番。あとは、「みどりが丘きずな小学校」と「みどりが丘きらり小学校」。その7つがありますが。はいどうぞ。

委員 今、委員長まとめていただいた案に総論賛成で、全く違和感ないのですが、1つ事務局に確認をしたくて、このAの部分は、地名に発想を得たものというどちらかというよりは保護者目線や地域目線で出てくる案だと思っております。BからCというところが、やはり小学生由来の案なのかなと思っております。

先ほど副委員長からもありましたように、私たちの意見も聞いて欲しいという小学校の児童もいらっちゃったというところで、このA案の地域性の由来とするこの名称の中にも、多分に子どもたちの意見というところに入っているという理解でよろしいでしょうか。子どもたちもこの名前を推している方というのは、何人もいるということの理解でよろしいでしょうか。

指導課長 今のそのAに関するものにつきましては、子どもたちの意見もかなり挙がっているような状況となっています。

委 員 承知いたしました。ありがとうございました。

委 員 長 はい。どうぞ。

副委員長 ちなみにですね、本校の学校だよりがずっと「緑の輝き」、それから「輝け緑っ子」ということで、そういえばこの輝きという字、「きらり」ですね。

もしかしたら、はまる可能性もあるなという気がして。「みどきら小学校」というのも呼べるのかもしれないなと思ったときに、「きずな」と「輝（きらり）」両方残すのか。

もし私だったら、こちらの「輝（きらり）」になるのが子どもからしたらよいのかなとか、本校で今この字をよく使っているなということを思い出しました。

委 員 長 ありがとうございます。

もうご意見よろしいですか。よろしければ、私の方で提示をさせていただきました7案ですね。数字でいくと、1番2番3番4番、そして10番。あとは、「みどりが丘きずな小学校」、「みどりが丘輝（きらり）小学校」ですから、36番と37番と言えばよいのでしょうか。この案で進めさせていただきます。よろしいですね。ありがとうございます。

ではこの議題は閉じさせていただきますので、あとは事務局大変ですけどまとめてください。よろしくお願いします。

では、続きまして議事3の連絡です。事務局よろしくお願いします。

学務課員 今後のスケジュールについてご説明いたします。

資料の2、今後のスケジュール案をご覧ください。

次回の設立準備委員会の日程になりますが、第4回の設立準備委員会につきましては、4月から5月中旬ごろを現在予定しております。

委員の皆様には改めてご都合を伺い、日時を決定させていただきたいと思います。

2点目ですけれども、各作業部会の日程についてです。現在のところB部会で3月14日6時半からということをお伺いしておりますが、A部会、C部会については、また各部会の方で調整をして、委員の皆様のご参加をいただく場合につきましてご連絡が行くと思いますので、ご承知おきいただければと思います。

3点目になります。前のスライドをご覧くださいだと思います。令和6年度内の設立準備委員会につきましては、今回の第3回が最後ということになります。委員の皆様には、各所属の代表ということで本委員会の委員を委嘱させていただいております。基本的には、開校までの必要な所掌が終わるまでということになっておりますが、各所属におかれまして、委員が代わられるということもあるかと思っておりますので、その場合につきましては3月末までに全体事務局の学務課にご連絡をいただければと思います。

また、その際に新たに委員になられる方につきましても、氏名、連絡先の方を教えてください、その後私たちが新たに委員となられる方に連絡等をとらせていただき、準備を進めて参りたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、委員が代わられる場合につきましては、今回までの会議の内容の引き継ぎを確実に行っていただければと思います。連絡は以上です。

委 員 長 ありがとうございます。ぜひ新年度になっても皆さんとともにやりたいと思いますので、できれば残ってください。よろしくお願いいたします。

4 番項その他になります。委員の皆様も含めて、何かありますでしょうか。

連絡すべきことお伝えすべきこと、何かあれば教えてください。どうぞ。

委 員 1 点だけこの場を借りて御礼申し上げたいのですが、今回の学校名のアンケートに関して、地域住民の方々にもポスティングなど、ご協力いただきましてありがとうございます。

地域住民の方々からも、新しい学校名でこんなアンケートをとられたことがないというお声をいただいております、本当に色々ご苦労あったかと思いますが、この場を借りて感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

委 員 長 そうですね。指導課さんが全部ポスティングすると聞いた時は、本当かと思いましたが本当にお疲れ様でございました。

他にご連絡ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは以上で、第3回（仮称）みどりが丘小分離新設校設立準備委員会を閉じさせていただきます。お疲れ様でございました。